4月から5月にかけて奮闘した春の拡大月間は、『組合のメリットと横のつながりで、

誰一人困った仲間を出さない月間にしよう！』をスローガンに掲げ、成果の積み上げと組織強化を重点に取り組みました。

月間目標ついては、目標162人に対し166人の成果となり本部目標（138人）・支部目標ともに達成しました。春の拡大月間は、拡大統一行動の日数をコロナ禍前に戻し、電話行動や群会議オルグ、日曜拡大を積極的に行った結果、事業所の雇用をいち早く掴み成果につなげ、脱退者の再加入もめだち、11分会のうち9分会が目標（昨年は11分会で9分会が達成）を達成する事ができました。今後の取り組みについても組織部会で各分会の報告や情勢を加味し、成果を獲得する事で節目の目標を達成できるような方針を議論していきます。

組織強化については、群会議オルグを行うことで、普段顔を合わせない若手・後継者へアプローチを行い、分会独自イベントへ誘い青年層が参加した報告もありました。また昨年夏よりLINE登録をすすめ、組合の制度や各種講習会、国の助成制度を広め、多くの困った仲間に寄り添った月間となりました。

月間の総括の詳細については組織部会で行い、拡大月間を成果の獲得だけでなく組織強化も行う月間として改めて認識し、コロナ禍による組織運動を今後も強化しながら、夏以降の月間へつなげていきます。あらためまして役員、活動家とご家族の皆様に心より感謝申し上げます。